

様式第2号の3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

学校名	専門学校日産愛知自動車大学校
設置者名	学校法人日産学園

○厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

<p>1. 授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画(シラバス)を作成し、公表していること。</p> <p>(授業計画書の作成・公表に係る取組の概要)</p> <p>授業計画作成ガイドライン (https://wp.nissan-gakuen.ac.jp/aichi/wp-content/uploads/gaidorain.pdf) に基づき、専門科目全てのシラバスを作成し、年度初め迄に学校ホームページ及び学生端末※2に掲載し、学生及び外部に公開している。</p> <p>※2 学生所有のクロームブック・スマートフォン等のアプリ群「Google Work Space」</p>	
授業計画書の公表方法	<p>ホームページにて公開</p> <p>https://www.nissan-gakuen.ac.jp/aichi/curriculum.html</p>
<p>2. 学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。</p> <p>(授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要)</p> <p>規定出席率を充足したうえで、試験(筆記・実習)に合格することで履修を認定する。成績については、試験の点数により優・良・可の3段階で判定する。</p> <p><u>学習評価について</u></p> <p>学習評価は教科ごとに下記試験を行い、合格しなければその教科を履修したと認められません。</p> <p>可否の判定は下記「判定基準」により行います。</p> <p>〈期末試験〉</p> <p>教科の学習効果を判断するために、教科毎に行われます。</p> <p>実習については授業内容の進捗により、教科の途中で試験の一部を実施することがあります。</p> <p>〈判定基準〉</p> <p>1) 学科、実習共に期末試験得点を成績得点とします。</p> <p>2) 学科、実習共に成績得点が60点(一級自動車工学科:70点)以上を合格とします。</p> <p>※2年次の国家2級資格取得のための特定の教科、工学科4年次の国家1級資格取得のための特定の教科においては、80点以上を合格とします。</p> <p>3) 成績得点を基に評定(優・良・可)、成績順位が決められます。</p> <p>※優:80点以上 良:60点以上(一級自動車工学科:70点以上)</p> <p>可:60点未満(一級自動車工学科:70点未満)</p> <p>※評定及び成績順位は、期末試験に合格し、教科規定の出席率を満たした場合に決められます。</p>	

3. 成績評価において、G P A等の客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。

(客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要)

成績評価は半期毎に、専門科目の期末試験の得点結果を合計し、その平均点で成績順位を算出する。

成績の公表は、半期毎に発行する成績通知書にて通知する。また、成績分布一覧を作成し、各個人の成績位置が分かるようにする。

客観的な指標の
算出方法の公表方法

ホームページにて公開
<https://wp.nissan-gakuen.ac.jp/aichi/wp-content/uploads/2024/06/FY24rishuuannai.pdf>

4. 卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。

(卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要)

卒業認定方針に基づき、全専門科目の履修を確認した上で、授業態度、出欠状況等を鑑み、卒業を認定している。〈ディプロマポリシー〉

<自動車整備科>

1 種養成施設として国土交通省により定められた学科・実習の全教科を履修し、以下に記す知識と能力を培った者に文部科学大臣告示による専門士(工業専門課程)を授与する

(1) 資格

① 国家二級自動車整備士資格を取得できる知識と実践力を身に付け、整備士として基本的な自動車整備作業ができる

(2) 技術

① 日産3級整備士資格を取得できる知識と技術を有している

② 日産資格制度の日産3級技術能力要件項目に沿った内容の作業ができ、CSマインドを身に付け、一連のお客様対応スキルを身に付けている

(3) 人間力

① 自主性を基に学ぶ意欲、向上心を持ち、自ら課題に対し積極的に取り組む姿勢を身に付けている

② チームの一員として共同作業のベースとなるコミュニケーション力を有している

③ 社会・地域に貢献し、法令・倫理の規範を遵守することができる

<一級自動車工学科>

1 種養成施設として国土交通省により定められた学科・実習の全教科を履修し、以下に記す知識と能力を培った者に文部科学大臣告示による高度専門士(工業専門課程)を授与する

(1) 資格

① 国家一級自動車整備士資格を取得できる知識と実践力を身に付け、自動車エンジニアとして高度で総合的な知見を有している

(2) 技術

① 日産2級整備士資格の学科試験に合格できる知識を有している

② 日産資格制度の日産2級技術能力要件項目に沿った内容の作業ができ、CSマインドを身に付け、一連のお客様対応スキルにより、お客様満足を優先する対応ができる

③ 企業経営に関する知識を身に付け、業務効率の重要性を理解している

(3) 人間力

① 主体性を基に自ら学ぶ意欲及び探究心を持って学習し、自ら目標を掲げて行動できる

② 組織の中で自分の役割を理解し、主体的に課題を解決する行動力を身に付けている

③ 相手の気持ちや考えを理解するコミュニケーション力を持ち、チーム全体をリードし

ていく意思を有している

- ④ 積極的に社会・地域に貢献し、法令・倫理の規範を遵守することができる

<自動車整備・カーボディマスター科3年次及び自動車整備・トータルマスター科3年次>

1種養成施設として国土交通省により定められた学科・実習の全教科を履修し、以下に記す知識と能力を培った者に卒業証書を授与する

(1) 資格

- ① 国家車体整備士資格を取得できる知識と実践力を身に付け、車体整備士として基本的な自動車板金塗装作業ができる

(2) 技術

- ① 日産3級車体士、塗装士資格を取得できる知識と技術を有している
- ② 日産資格制度の1級、2級の知識を備え、尚且つ、日産3級技術能力要件項目に沿った内容の作業ができる

(3) 人間力

- ① 主体性を基に学ぶ意欲、向上心を持ち、自ら課題に対し積極的に行動できる
- ② チームの一員として共同作業のベースとなるコミュニケーション力と協調と協力の意思を有している
- ③ 社会・地域に貢献し、法令・倫理の規範を遵守することができる

<自動車整備・マスターメカニック科3年次及び自動車整備・トータルマスター科4年次>

本校で定めた科目を履修していること

(1) 資格

- ① 実践的な整備作業（自動車、オートバイ、カート等）ができ、各種ライセンス（カート、B級ライセンス、タイヤ充填士）を取得できる技術を身につける

(2) 技術

- ① 重整備におよぶ自動車整備作業技術を有している
- ② 高度な自動車の運転技能を有している
- ③ オートバイ整備技術、レース車両作成の技術を有している
- ④ 車、バイクに関わる卒業制作品を完成させている

(3) 人間力

- ① 目標を共有するチームにおいて、そのチームワークを発揮できるコミュニケーション能力を有している
- ② 車の楽しさ（整備、運転）を知るエンジニアとなっている

卒業の認定に関する
方針の公表方法

ホームページにて公開

<https://wp.nissan-gakuen.ac.jp/aichi/wp-content/uploads/2024/06/FY24rishuunnai.pdf>